

第3章 まちづくり戦略(第3期八百津町まち・ひと・しごと創生総合戦略)

1. まちづくり戦略の主旨と位置づけ

まちづくり戦略は、八百津町の将来像を実現するために、重点的に取り組む施策を分野横断的かつ一体的に推進することで、相乗効果を引き出すための戦略方針です。ここで位置づけた施策を重点的に実施することで、各分野の施策をけん引し、計画全体の着実な推進を先導するものです。

さらに、まちづくり戦略で示す施策は、八百津町のデジタル田園都市構想実現に向けた第3期八百津町まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策としても位置づけます。国が推進する「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、デジタル技術の活用などにより、地域の個性を活かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取り組みを加速化します。

まちづくり戦略の基で、八百津町の魅力を発信し、交流人口・関係人口の拡大を図るとともに、子育てしやすい環境を整備して若い世代から選ばれるまちを実現します。これにより、移住人口・定住人口の増加を図り、人口減少に伴う地域課題の解消に取り組みます。

また、地域産業を活性化し、雇用の創出を図るとともに、安全に安心して暮らせる環境の整備を推進し、移住人口・定住人口の増加を支える基盤整備を重点的に進めます。

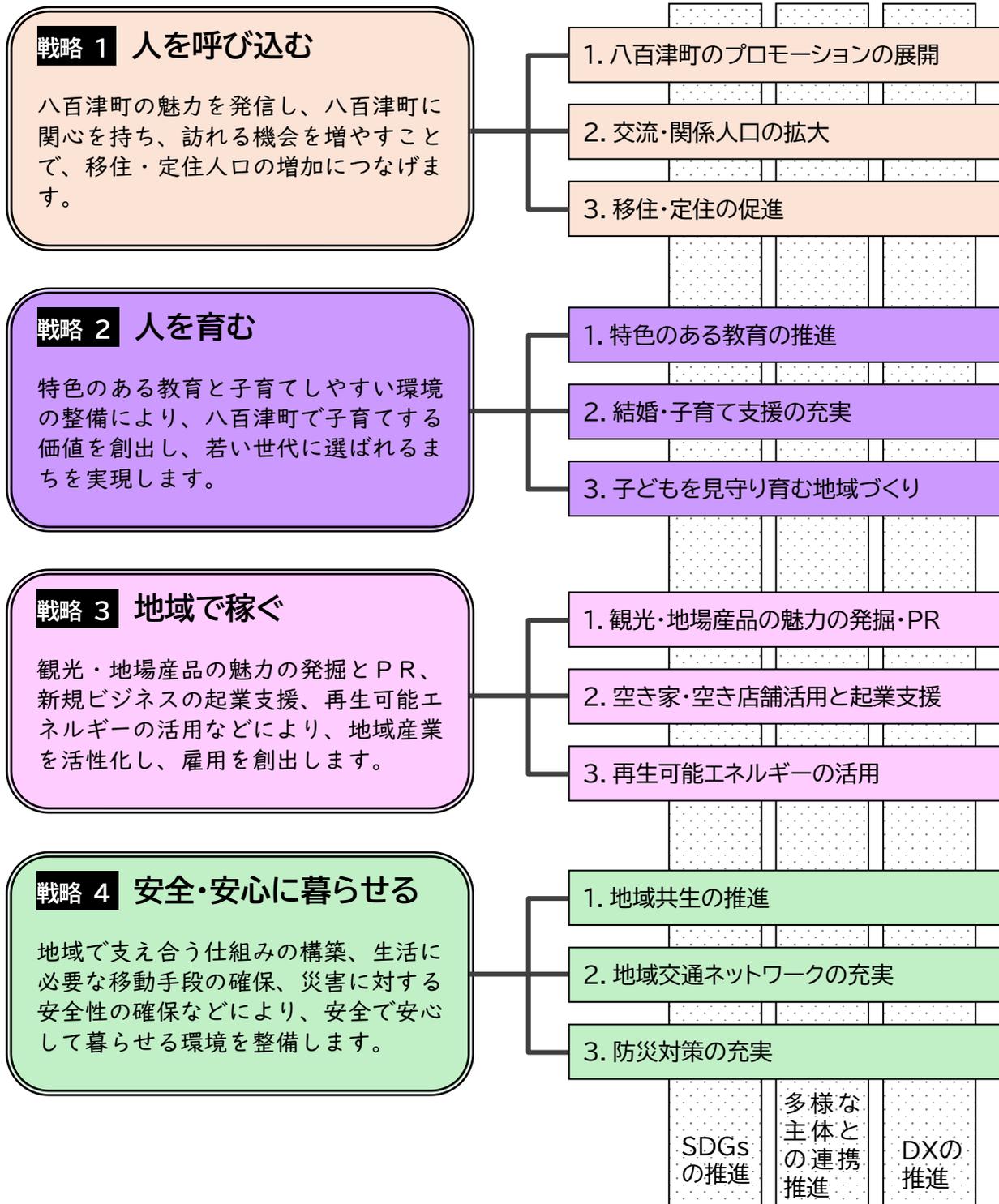
事業を進めるにあたっては、地域再生計画（「八百津町まち・ひと・しごと創生推進計画」）と連動させて事業を推進します。

2. 計画期間

計画期間は、総合計画の前期計画期間に合わせて令和7（2025）年度～令和10（2028）年度までの4年間とします。総合計画の改定に合わせて、総合戦略の見直しを行います。

3. まちづくり戦略の体系

(1)まちづくり戦略の体系



(2)まちづくり戦略と分野別基本計画との関係

まちづくり戦略の体系 分野別基本計画の体系	人を呼び込む			人を育む			地域で稼ぐ			安全・安心に暮らせる		
	シヨンの展開 八百津町のプロモーション	大交流・関係人口の拡大	移住・定住の促進	進特色のある教育の推進	充実結婚・子育て支援の地域づくり	子どもを見守り育む	観光・地場産品の魅力の発掘・PR	空き家・空き店舗活用と起業支援	再生可能エネルギーの活用	地域共生の推進	地域交通ネットワークの充実	防災対策の充実
1. 笑顔に満ちた健康で安心のまちづくり												
子育て支援・少子化対策の推進			●		●							
健康づくりの推進												
地域福祉の推進										●		
高齢者福祉の充実										●		
障がい者福祉の充実										●		
2. 人と文化を未来につなぐまちづくり												
人道のまちづくりの推進				●								
学校教育の充実				●		●						
生涯学習の推進												
生涯スポーツの推進		●										
地域文化の継承と創造		●										
3. 地域らしい産業と活力あるまちづくり												
農業の振興							●					
林業の振興												●
商工業の振興							●	●	●			
観光の振興	●	●					●					
4. 快適で安全な暮らしを支えるまちづくり												
住宅・空き家対策の充実			●					●				
道路・公共交通網の充実											●	
治山・治水対策の充実												●
上下水道の安定運営												
消防・防災体制の充実												●
交通安全・防犯対策の充実						●						
環境保全・エネルギー対策の推進									●			
5. とともに考え、ともに創るまちづくり												
交流・関係人口拡大・プロモーションの推進	●	●		●								
多様な主体との協働の推進									●	●		
共生社会の実現										●		
効率的な行財政運営							●					

まちづくり戦略ページの見方

目標指標
当該戦略を進めるうえでの目標指標を設定し、現状値と目標値を示しています。

基本方針
将来像を実現するために、分野横断的かつ重点的に取り組む主要課題を示しています。

SDGsアイコン
施策内容について、SDGsの17の持続可能な開発目標のうち、関連する目標をアイコンで示しています。

分野別基本計画との関連マーク
当該戦略について、分野別基本計画(P●～)で示す施策の方針と関連する事業や取り組みを紹介しています。

4. まちづくり戦略

戦略1 人を呼び込む

基本方針

八百津町の魅力を発信し、八百津町に関心を持ち、訪れる機会を増やすことで、移住・定住人口の増加につなげます。

【目標指標】

目標指標	単位	現状値		目標値
		年度	基準値	R10 (2028)
空き家バンクを利用した移住者数(累計)	人	R5	195	300

施策内容

基本計画：関連施策 P55-①、P71-③

(1) 八百津町のプロモーションの展開

- ・八百津町の自然、歴史・文化、産品、レジャー、教育、仕事、暮らし、催事、まちづくりなど、まちの魅力や動向を積極的に情報発信します。
- ・情報発信施設を核とした観光プロモーションを強化して情報発信を図ります。
- ・町・観光協会のホームページ、Instagramをはじめとした各種SNSなど情報の内容に応じて多様な媒体や動画・写真を活用して効果的な情報発信を展開します。
- ・行政だけではなく、町民、来訪者のなかから情報発信の協力者を育成・発掘し、八百津町に関わりのある多様な人々によって情報発信する仕組みを構築します。
- ・マスメディア、著名人、インフルエンサーなど、情報発信力のある外部の媒体・人材と連携して情報発信を働きかけます。
- ・インバウンド需要の拡大に対応するために、多言語による情報発信に取り組みます。

事業内容

- ・みんなが観光大使宿泊費助成事業
- ・ハヤブサプロジェクト事業
- ・情報発信PR事業

KPI (重要業績評価指標)

KPI (重要業績評価指標)	単位	現状値		目標値
		年度	基準値	R10 (2028)
杉原千畝記念館入館者数	人	R5	15,420	20,000
ハヤブサ・ミュージアム入館者数(累計)	人	R6.1～	2,467	10,000
観光協会アカウントのフォロワー数(累計)	件	R5	1,682	3,000
町内宿泊者SNS発信件数	件	R5	221	280

施策内容
当該戦略の基本方針を実現させるための取り組み、主な事業を示しています。また、事業内容の推進を評価するための数値目標を示しています。

(参考) SDGsの17の持続可能な開発目標

アイコン	17の持続可能な開発目標	
	目標1	あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
	目標2	飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
	目標3	あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
	目標4	すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
	目標5	ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
	目標6	すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する
	目標7	手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
	目標8	すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する
	目標9	レジリエントなインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る

アイコン	17の持続可能な開発目標
	<p>目標 10 国内および国家間の格差を是正する</p>
	<p>目標 11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする</p>
	<p>目標 12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p>
	<p>目標 13 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る</p>
	<p>目標 14 海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>
	<p>目標 15 森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る</p>
	<p>目標 16 公正、平和かつ包摂的な社会を推進する</p>
	<p>目標 17 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>

4. まちづくり戦略

戦略1 人を呼び込む

基本方針

八百津町の魅力を発信し、八百津町に関心を持ち、訪れる機会を増やすことで、移住・定住人口の増加につなげます。

【目標指標】

目標指標	単位	現状値		目標値
		年度	基準値	R10 (2028)
空き家バンクを利用した移住者数 (累計)	人	R5	195	300

施策内容

基本計画：関連施策 P55-①、P71-③



(1) 八百津町のプロモーションの展開

- ・八百津町の自然、歴史・文化、産品、レジャー、教育、仕事、暮らし、催事、まちづくりなど、まちの魅力や動向を積極的に情報発信します。
- ・情報発信施設を核とした観光プロモーションを強化して情報発信を図ります。
- ・町・観光協会のホームページ、Instagramをはじめとした各種SNSなど情報の内容に応じて多様な媒体や動画・写真を活用して効果的な情報発信を展開します。
- ・行政だけではなく、町民、来訪者のなかから情報発信の協力者を育成・発掘し、八百津町に関わりのある多様な人々によって情報発信する仕組みを構築します。
- ・マスメディア、著名人、インフルエンサーなど、情報発信力のある外部の媒体・人材と連携して情報発信を働きかけます。
- ・インバウンド需要の拡大に対応するために、多言語による情報発信に取り組みます。

事業内容

- ・みんなが観光大使宿泊費助成事業
- ・ハヤブサプロジェクト事業
- ・情報発信PR事業

KPI (重要業績評価指標)	単位	現状値		目標値
		年度	基準値	R10 (2028)
杉原千畝記念館入館者数	人	R5	15,420	20,000
ハヤブサ・ミュージアム入館者数(累計)	人	R6.1~	2,467	10,000
観光協会アカウントのフォロワー数 (累計)	件	R5	1,682	3,000
町内宿泊者SNS発信件数	件	R5	221	280



(2) 交流・関係人口の拡大

- ・蘇水公園の特色のあるスポーツ施設を活用してスポーツ大会やスポーツイベントなどを誘致して、スポーツを通じた交流人口の拡大を推進するとともに、新たな交流・関係人口の創出を図るため、蘇水公園周辺エリアの土地利用計画の検討を進めます。
- ・八百津町の自然、歴史・文化などを体験するプログラムを充実し、八百津町に魅力を感じ、関心を持つ人を増やします。
- ・八百津町に関心のある人々との関係を継続・強化するために定期的な情報提供や町内のイベントや活動への参加の呼びかけなどを行い、関係人口の拡大を図ります。
- ・必要なスキルを持つ外部人材と連携して新たな事業を企画するなど、地域の担い手として関係人口の活用を図ります。

事業内容

- ・スポーツイベント開催事業（蘇水サマーフェスタ、ジョギング大会など）
- ・スポーツ施設整備事業（蘇水公園、B & G海洋センター）

KPI（重要業績評価指標）	単位	現状値		目標値 R10（2028）
		年度	基準値	
スポーツ施設年間利用者数	人	R5	67,065	67,400
B & G海洋センター艇庫利用団体数	団体	R5	18	25



(3) 移住・定住の促進

- ・空き家バンクの周知を図って活用できる空き家を確保します。これにより移住者のニーズに対応した住宅が斡旋できるようにし、移住を促進します。
- ・移住体験や町内の移住者と交流できる機会を拡大します。これにより八百津町への移住を検討する人を増やします。
- ・町内で生活を始める際の負担を軽減するために、空き家の改修補助を含めた移住者への経済的支援に取り組みます。
- ・都市部での移住フェアへの出展など、広域にわたるPR活動を積極的に展開します。
- ・未利用の町有財産を活用した若者・子育て世帯向け賃貸住宅の建設や宅地分譲などさまざまな角度から検討し、移住定住につなげます。

事業内容

- ・移住体験事業
- ・空き家バンク登録促進事業
- ・移住者対応空き家改修事業
- ・老朽危険空家等除却事業（補助金）

KPI（重要業績評価指標）	単位	現状値		目標値 R10（2028）
		年度	基準値	
移住体験住宅の利用世帯数（累計）	世帯	R5	12	22
移住体験住宅退去者の町内定住世帯数（累計）	世帯	R5	9	14

戦略2 人を育む

基本方針

特色のある教育と子育てしやすい環境の整備により、八百津町で子育てする価値を創出し、若い世代に選ばれるまちを実現します。

【目標指標】

目標指標	単位	現状値		目標値 R10 (2028)
		年度	基準値	
転入者の若年層比率 (39歳以下)	%	R5	70.0	75.0

施策内容

基本計画：関連施策 P39-②、P41-①、P71-①



(1) 特色のある教育の推進

- ・杉原千畝氏の人道精神を継承するための人道教育、国際理解や英語力を高めるグローバル教育、演劇を通じたコミュニケーション教育など、これまでの取り組みの蓄積を基に、特色のある教育の充実を図ります。
- ・特色のある教育と合わせて、個別最適な学びと基礎学力の定着を実現するきめ細かい指導体制を充実させ、八百津町で教育を受ける価値を高めます。
- ・八百津高校と連携して、地域の課題の発見、課題の設定、課題解決案の提案を行うなど、社会で役立つ解決能力を養うプログラムを提供し、高校の魅力化を支援します。
- ・八百津町の教育の魅力を積極的に発信し、八百津町での教育を希望する人を増やし、子育て世代の定住を促進します。

事業内容

- ・中学生海外派遣事業
- ・海外交流授業
- ・英語指導事業
- ・夢・志 明確化事業
- ・未来の力育成事業

KPI (重要業績評価指標)	単位	現状値		目標値 R10 (2028)
		年度	基準値	
学校に行くのは楽しいと思っている児童(小6)生徒(中3)の割合(全国学力学習状況調査)	%	R6	児童(小6) 85.4 生徒(中3) 75.6	児童(小6) 90.0 生徒(中3) 90.0
人の役に立つ人間になりたいと思っている児童(小6)生徒(中3)の割合(全国学力学習状況調査)	%	R6	児童(小6) 98.8 生徒(中3) 95.9	児童(小6) 90.0 生徒(中3) 90.0



(2) 結婚・子育て支援の充実

- ・未満児保育や病児病後児保育、医療的ケア児保育など、多様化する保育ニーズに柔軟に対応した保育サービスを提供します。
- ・妊娠期から子育て期まで切れ目なく相談に応じる伴走型支援と経済的支援、産後ケアを一体的に実施する包括的な子育て支援策を充実し、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを進めます。
- ・町内で結婚、定住する人を増やすために、婚活支援、新婚生活への経済的支援などの結婚支援の取り組みを進めます。

事業内容

- ・保育サービスの提供事業（保育園、学童保育、一時預かり、病児病後児保育など）
- ・こども家庭センターによる相談体制 or 相談機能
- ・産後ケア事業
- ・マタニティスクール・パパママ教室
- ・子育て支援センターゆうゆう広場

KPI（重要業績評価指標）	単位	現状値		目標値
		年度	基準値	R10（2028）
結婚新生活支援補助金受給件数	件	R5	3	5
3歳未満児保育申込受入率	%	R5	100	100
パパママ教室受講率（初妊婦）	%	R5	83.3	85.0



(3) 子どもを見守り育む地域づくり

- ・地域の祭りや行事への参加、さまざまな体験学習、子どもを対象とした学習・スポーツ教室などへの子どもの参加を促し、学校ではできないさまざまな学びの場を地域のなかで提供します。
- ・地域と連携して登下校や放課後時に子どもを見守る活動を展開し、子どもが安心して過ごせる地域づくりを進めます。
- ・地域全体で子どもを見守り、育む気運を醸成し、子どもを産み育てたくなる地域づくりを進めます。

事業内容

- ・休日部活動地域移行事業
- ・地域学校協働活動
- ・登下校見守りボランティア

KPI（重要業績評価指標）	単位	現状値		目標値
		年度	基準値	R10（2028）
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童(小6)生徒(中3)の割合（全国学力学習状況調査）	%	R6	児童(小6) 93.9 生徒(中3) 85.1	児童(小6) 90.0 生徒(中3) 90.0
休日部活動地域移行実施率	%	R6	54.0	100
見守りボランティア参加者数	人	R6	72	75

戦略3 地域で稼ぐ

基本方針

観光・地場産品の魅力の発掘とPR、新規ビジネスの起業支援、再生可能エネルギーの活用などにより、地域産業を活性化し、雇用を創出します。

【目標指標】

目標指標	単位	現状値		目標値 R10 (2028)
		年度	基準値	
起業件数 ^(※) (累計)	件	R5	8	25

(※) 八百津町商工会によるカウント、新規特定創業者数(特定の知識などを身に付け、町が認めた創業者の数)、地域おこし協力隊制度を利用した起業件数の合計

施策内容

基本計画：関連施策 P49-③⑤、P53-②、P55-③、P77-③



(1) 観光・地場産品の魅力の発掘・PR

- ・自然環境、歴史文化、観光施設、店舗、ダムなどの地域資源の魅力の発掘と観光客向けのプログラムや受け入れ環境の充実により、観光客の増加を図ります。
- ・ふるさと納税や観光物産フェア、観光客の誘客事業との連携により、商品開発、販路開拓を促進し、地域産業の活性化を図ります。
- ・農産物の加工品の開発・販路開拓を進め、農業の高付加価値化、地産地消の推進に取り組みます。
- ・農業の環境負荷低減に対する取り組みと農産物のブランド化を支援します。

事業内容

- ・物産展出店事業
- ・副業・兼業人材活用事業
- ・蘇水峡川まつり開催事業
- ・八百津町バンジージャンプサイト周辺整備事業
- ・おいしい八百津推奨品認定事業
- ・6次産業化推進対策事業
- ・化学肥料・農薬不使用栽培の推進

KPI (重要業績評価指標)	単位	現状値		目標値 R10 (2028)
		年度	基準値	
山の直売所年間利用者数	人	R4	31,198	32,000
おいしいやおつ推奨品応募数	件	R5	4	5
栗の地産地消	kg	R5	16,525	20,000
環境保全型農業取組面積	ha	R5	3.3	10

基本計画：関連施策 P53-①②③、P57-①



(2) 空き家・空き店舗活用と起業支援

- ・空き家・空き店舗を活用して、八百津町内で新規事業を始める事業者・移住者の誘致を図ります。そのために、空き家バンクによる物件の紹介、国・県の支援制度の紹介、各種相談対応、町内の商工事業者の情報提供など、起業を支援する体制を整備します。
- ・地域おこし協力隊員や新規創業者、事業継承者による起業を促します。そのために、町内の商工業者との交流の場を設けるなど、起業する人が相談しやすい環境を整えます。
- ・行政が有する用地、建物・スペースを活用してトライアル事業を行う民間事業者を募集し、町内での実験事業の取り組みを応援します。これにより事業者の八百津町に対する関心を高め、企業立地につなげます。

事業内容

- ・空き店舗再生事業
- ・町有財産利活用事業
- ・旧福地小学校活用事業
- ・地域おこし協力隊事業
- ・新規特定創業者支援事業
- ・雇用促進奨励金事業

KPI (重要業績評価指標)	単位	現状値		目標値 R10 (2028)
		年度	基準値	
空き店舗再生件数 (累計)	件	R5	3	8

基本計画：関連施策 P53-③、P69-②、P73-③



(3) 再生可能エネルギーの活用

- ・産学官連携の基で再生可能エネルギーの導入を促進し、エネルギーの自給自足が可能なまちを目指します。
- ・産学官で取り組んでいる水素製造プロジェクトの推進を支援し、水素の製造・活用のモデルとなる水素タウンを目指します。
- ・カーボンニュートラルへの積極的な取り組みを町の価値として情報発信し、カーボンニュートラルに関心のある企業の立地や観光客・移住者の誘致につなげます。

事業内容

- ・充電インフラ整備事業
- ・住宅用太陽光発電システム設置補助

KPI (重要業績評価指標)	単位	現状値		目標値 R10 (2028)
		年度	基準値	
住宅用太陽光発電システム設置補助件数 (累計)	件	R5	149	189

戦略4 安全・安心に暮らせる

基本方針

地域で支え合う仕組みの構築、生活に必要な移動手段の確保、災害に対する安全性の確保などにより、安全で安心して暮らせる環境を整備します。

【目標指標】

目標指標	単位	現状値		目標値 R10 (2028)
		年度	基準値	
八百津町は「大変住みやすい」「住みやすい」と答えた人の割合	%	R5	61.0	70.0

施策内容

基本計画：関連施策 P33-①②③、P35-②④
P37-①②、P73-②、P75-①②



(1) 地域共生の推進

- ・介護、障がい、貧困、孤立・孤独などの町民のさまざまな生活上の課題に対して、地域や関係機関と連携した横断的な支援を充実し、地域で支え合う仕組みを構築することを通して、安心して暮らせる環境を整備します。
- ・そのために、多様な町民が集まり、交流する機会を拡充し、町民同士のつながりづくりと町民活動の活性化を図ります。
- ・さまざまな地域課題の解決に向けて多様な主体が参画する協働のまちづくりを推進し、町民の能力と経験が活かせる機会を増やし、町民の生きがいと意欲を高めます。

事業内容

- ・介護予防事業
- ・障がい者自立支援事業
- ・協働のまちづくり補助事業
- ・スタートアップ補助事業

KPI (重要業績評価指標)	単位	現状値		目標値 R10 (2028)
		年度	基準値	
地域サロンの開催団体数	団体	R5	40	41
ボランティア教室の開催回数	回	R5	1	2
福祉ボランティア団体数	団体	R5	21	22
町民協働によるまちづくり事業の実施件数	件	R5	11	15

基本計画：関連施策 P59-①②③



(2) 地域交通ネットワークの充実

- ・車を運転しない交通弱者の生活に不可欠な移動手段の確保を図るために、コミュニティバスやデマンド交通の見直しや路線バス、タクシーとの連携などを検討し、公共交通体系の確立を図ります。
- ・国県道の整備促進、町道の計画的な整備を進め、円滑な道路交通を実現します。

事業内容

- ・公共交通網の整備事業（西部自主運行バス、久田見・福地エリアデマンド運行、潮南エリアデマンド運行）
- ・八百津町元気タクシー事業
- ・町道新設改良事業

KPI（重要業績評価指標）	単位	現状値		目標値 R10（2028）
		年度	基準値	
東部地区デマンド交通の年間延べ利用者数	人	R5	11,168	11,600
観光シャトルタクシーの乗車人数	人	R5	429	495

基本計画：関連施策 P51-①、P61-②、P65-①③



(3) 防災対策の充実

- ・発生が予想されている巨大地震や特に近年頻発している豪雨災害に対応するために、河川のしゅんせつや改良工事などの河川整備や森林の保全・整備を進めるとともに、ハザードマップの周知を図り、災害への備えを強化します。
- ・消防団員の確保と消防団活動の支援により消防団の体制を強化するとともに、自主防災組織の活動支援と防災士の養成を行い、地域の防災を担う人材の育成を図ります。

事業内容

- ・河川しゅんせつ工事
- ・河川改良事業
- ・防災行政情報配信システム
- ・消防団詰所改修事業
- ・消防団情報連携事業
- ・森林経営管理制度事業などによる民有林の保全・整備の推進

KPI（重要業績評価指標）	単位	現状値		目標値 R10（2028）
		年度	基準値	
自主防災組織活動支援事業実施団体数	団体	R5	1	10
防災訓練等参加者数	人	R5	205	200

5. まちづくり戦略推進にあたっての基本方針

(1) SDGsの推進

- ・誰一人取り残されない持続可能なまちづくりを進めるために、まちづくり戦略の推進にあたっては、SDGsが掲げる17の目標と関連付けて各施策を推進します。
- ・施策目標別に掲げる重要業績評価指標（KPI）を、SDGsローカル指標として位置づけ、SDGsの達成状況の評価指標としても活用します。

(2) 多様な主体との連携推進

- ・まちづくり戦略を推進するためには、行政が有する経営資源（人、資金、ノウハウ）だけでは限界があるため、外部資源の積極的な活用を進めます。
- ・町内の多様な主体との協働を推進するとともに、地域おこし協力隊、副業人材、関係人口などの外部の人材の活用や、企業との連携を積極的に推進します。

(3) DXの推進

- ・国は、持続可能な社会づくりのための基本方針である「デジタル田園都市構想」を基に地方創生を推進するとしています。
- ・国の制度を有効に活用しながら、効率的かつ効果的な施策を実現するためにDXを積極的に推進します。

■ SDGs とまちづくり戦略との関係

SDGsの原則（「すべてのステークホルダーが役割を担う」「経済・社会・環境に統合的に取り組む」「経済・社会・環境に統合的に取り組む」「定期的にフォローアップ（指標による進捗状況の評価）」）を踏まえてまちづくり戦略を推進します。

まちづくり戦略の施策とSDGsの目標、ローカルSDGs指標の関係を以下に示します。

※まちづくり戦略の指標から、SDGsの目標の達成に寄与する取り組みの指標をローカルSDGs指標として位置づけ、SDGsの進捗を管理します。

◇戦略1 人を呼び込む

(1) 八百津町のプロモーションの展開	
SDGs目標	【目標17】 パートナーシップで目標を達成しよう
取り組み内容	・町民、来訪者のなかから情報発信の協力者を育成・発掘し、八百津町に関わりのある多様な人々によって情報発信する仕組みを構築
SDGs指標	・町内宿泊者SNS発信件数
(2) 交流・関係人口の拡大	
SDGs目標	【目標3】 すべての人に健康と福祉を 【目標4】 質の高い教育をみんなに 【目標17】 パートナーシップで目標を達成しよう
取り組み内容	・スポーツ施設を活用してスポーツ大会やスポーツイベントなどを誘致して、スポーツを通じた交流人口を拡大 ・八百津町の歴史・文化などを体験するプログラムを充実 ・必要なスキルを持つ外部人材と連携して新たな事業を企画
SDGs指標	・スポーツ施設年間利用者数
(3) 移住・定住の促進	
SDGs目標	【目標11】 住み続けられるまちづくりを
取り組み内容	・活用できる空き家を確保し、移住者のニーズに対応した住宅が斡旋できるようにし、移住を促進 ・町内で生活を始める際の負担を軽減するために、空き家の改修補助を含めた移住者への経済的支援に取り組む
SDGs指標	・空き家バンクを利用した移住者数 ・移住住宅の利用世帯数 ・移住住宅退去者の町内定住世帯数

◇戦略2 人を育む

(1) 特色のある教育の推進	
SDGs 目標	【目標 4】 質の高い教育をみんなに 【目標 5】 ジェンダー平等を実現しよう
取り組み内容	・人道教育、国際理解や英語力を高めるグローバル教育、演劇を通じたコミュニケーション教育など、特色のある教育を充実 ・個別最適な学びと基礎学力の定着を実現するきめ細かい指導体制を充実
SDGs 指標	・学校に行くのは楽しいと思っている児童（小6）生徒（中3）の割合 ・人の役に立つ人間になりたいと思っている児童（小6）生徒（中3）の割合
(2) 結婚・子育ての充実	
SDGs 目標	【目標 3】 すべての人に健康と福祉を 【目標 11】 住み続けられるまちづくりを
取り組み内容	・未満児保育や病児病後児保育、医療的ケア児保育などの保育サービスを提供 ・妊娠期から子育て期まで切れ目なく相談に応じる伴走型支援と経済的支援、産後ケアを一体的に実施する包括的な子育て支援策を充実 ・町内で結婚、定住する人を増やすために婚活支援、新婚生活への経済的支援などの結婚支援に取り組む
SDGs 指標	・転入者の若年層比率(39歳以下) ・3歳未満児保育申込受入率 ・結婚新生活支援補助金受給件数
(3) 子どもを見守り育む地域づくり	
SDGs 目標	【目標 4】 質の高い教育をみんなに 【目標 17】 パートナーシップで目標を達成しよう
取り組み内容	・学校ではできないさまざまな学びの場を地域のなかで提供 ・地域と連携して登下校や放課後時に子どもを見守る活動を展開 ・地域全体で子どもを見守り、育む気運を醸成
SDGs 指標	・休日部活動地域移行実施率 ・見守りボランティア参加者数

◇戦略3 地域で稼ぐ

(1) 観光・地場産品の魅力の発掘・PR	
SDGs目標	<p>【目標 8】働きがいも経済成長も</p> <p>【目標 12】 つくる責任つかう責任</p> <p>【目標 15】 陸の豊かさも守ろう</p>
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税や観光物産フェア、観光客の誘客事業との連携により、商品開発、販路開拓を促進し、地域産業の活性化を推進 ・農産物の加工品の開発・販路開拓を進め、農業の高付加価値化、地産地消を推進 ・農業の環境負荷低減に対する取り組みと農産物のブランド化を支援
SDGs指標	<ul style="list-style-type: none"> ・山の直売所年間利用者数 ・栗の地産地消 ・環境保全型農業取組面積
(2) 空き家・空き店舗活用と起業支援	
SDGs目標	<p>【目標 8】働きがいも経済成長も</p> <p>【目標 9】 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>【目標 17】 パートナーシップで目標を達成しよう</p>
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家・空き店舗を活用して、八百津町内で新規事業を始める事業者・移住者を誘致 ・地域おこし協力隊員や新規創業者、事業継承者による起業を促進 ・行政が有する用地、建物・スペースを活用して、トライアル事業を行う民間事業者を募集して、町内での実験事業の取り組みを応援
SDGs指標	<ul style="list-style-type: none"> ・起業件数 ・空き店舗再生件数
(3) 再生可能エネルギーの活用	
SDGs目標	<p>【目標 7】 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> <p>【目標 9】 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>【目標 17】 パートナーシップで目標を達成しよう</p>
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携の基で再生可能エネルギーの導入を促進し、エネルギーの自給自足が可能なまちを目指す ・産学官で取り組んでいる水素製造プロジェクトの推進を支援 ・カーボンニュートラルへの積極的な取り組みを町の価値として情報発信し、カーボンニュートラルに関心のある企業や観光客・移住者を誘致
SDGs指標	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用太陽光発電システム設置補助件数

◇戦略4 安全・安心に暮らせる

(1) 地域共生の推進	
SDGs目標	<p>【目標1】 貧困をなくそう</p> <p>【目標3】 すべての人に健康と福祉を</p> <p>【目標10】 人と国の不平等をなくそう</p> <p>【目標11】 住み続けられるまちづくりを</p> <p>【目標17】 パートナーシップで目標を達成しよう</p>
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護、障がい、貧困、孤立・孤独などの町民のさまざまな生活上の課題に対して、地域や関係機関と連携した横断的な支援を充実、地域で支え合う仕組みを構築することで、安心して暮らせる環境を整備 ・多様な町民が集まり、交流する機会を拡充し、町民同士のつながりづくりと町民活動の活性化を推進 ・さまざまな地域課題の解決に向けて多様な主体が参画する協働のまちづくりを推進
SDGs指標	<ul style="list-style-type: none"> ・八百津町は「大変住みやすい」「住みやすい」と答えた人の割合 ・地域サロンの開催団体数 ・ボランティア教室の開催回数 ・福祉ボランティア団体数 ・町民協働によるまちづくり事業の実施件数
(2) 地域交通ネットワークの充実	
SDGs目標	<p>【目標9】 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>【目標11】 住み続けられるまちづくりを</p>
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・車を運転しない交通弱者の生活に不可欠な移動手段の確保を図るために、公共交通体系を確立 ・国県道の整備促進、町道の計画的な整備を進め、円滑な道路交通を実現
SDGs指標	<ul style="list-style-type: none"> ・東部地区デマンド交通の年間延べ利用者数 ・観光シャトルタクシーの乗車人数
(3) 防災対策の充実	
SDGs目標	<p>【目標11】 住み続けられるまちづくりを</p> <p>【目標13】 気候変動に具体的な対策を</p> <p>【目標17】 パートナーシップで目標を達成しよう</p>
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・発生が予想されている巨大地震や特に近年頻発している豪雨災害に対応するために、河川のしゅんせつや改良工事などの河川整備や森林の保全・整備を推進 ・自主防災組織の活動支援と防災士の養成を行い、地域の防災を担う人材を育成
SDGs指標	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織活動支援事業実施団体数